

生涯修行二十一德

私は東京の浅草で生まれました。父親は寿司職人でした。七人兄弟の末っ子で、私が三歳の時に母親が亡くなつたことで兄弟それぞれ親戚に引き取られ離れ離れになりました。

当時、大桑村須原の定勝寺の住職が親戚であつたこともありここに引き取られ仏門にはいることになりました。京都の学校に入学し厳しい修行が始まりました。その後須原に戻りましたが様々な理由で和尚様になるのをあきらめました。それから生まれ故郷の東京に

てから東京の神田末広町に初めて自分の店を出しました。その後店を次男に譲り、自分は姪の店を手伝うために愛知県の小牧市に移り住むことになったが、やつぱり自分の店が持ちたくて、平成になつてから岐阜県の瑞浪市に念願の寿司店をオープンしました。地域の方々にずいぶん可愛がつていただき、今でも感謝しております。店も順調だった頃、私は脳梗塞で倒れてしまいその後遺症で寿司が握れなくなり、本当に残念で

移り、親戚の寿司屋に勤めることになり、今度は寿司職人の修行をすることになりました。北は青森、南は九州まで全国各地を修行で旅しました。三十歳を過ぎてから東京の神田末広町こ

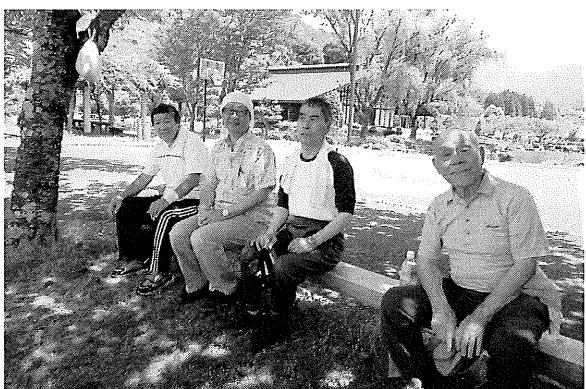


すてきな笑顔

したが店を閉めることになりました。その時の常連さんは今でもお付き合いをしていただいており、面会にも来ていただき有難いことです。寿司店をやめてから夫婦で療養のため、子供の頃お世話になつた大桑村に住むことになり、今は二人で仲良く木曾寮にお世話をなっています。



お花見ドライブ



スポーツ交流会に参加